

夏祭

空はコバルト、地上は緑 画の如き筑波嶺には、夏を思はせる入道雲が湧き、樹々の梢から蝉の音が漸く騒がしくなる頃、農家では田畑の仕事も一段落つき、いよいよ楽しい夏祭りを迎へ、村々からは人々の心をかりたてる様に太鼓の音が聞えて来る。商店街のぼんぼりや涼風に推れ、威勢のよい稚子の音に人々の足どりも軽く、すがすがしい浴衣で、彼方此方より中根通りへと集む人の群は道路を埋め、いよく祭も最高潮に達する頃ともなれば、老へも若きも労苦を忘れて、神輿や山車につれてわり歩き、さながら京の祭が偲ばれる。夏の夜は何時しか更けて祭しかつた今日の祭りを夢に結びつゝ、又明日から、よりよき文化村へと向上の歩みを邁ぶこととせう。

華やかな京偲びるる祇園祭
 村人の労苦ねきらひ夏祭
 やがて引く名残りの山車の踊哉

永田 晋愛



さかえ 七月号目次

表紙 祭の宵	栄小教頭 鷹巢 清
題字	栄村収入役 沼尻 昌雄
扉	栄俳句会長 永田 常吉
農協ニュース	一 MSA援助とは 一三
農家への赤信号	二 青年会の動き 一五
教育たより	三 國保 衛生係より 一六
新入館図書のお知らせ	三 婦人会短信 一七
公民館各部事業計画	四 八月の農事手帖 一七
弘報委員会事業計画	六 今年の産米白標さまる 一八
昨年米村した観察団	七 牛の流産予防注射 一九
中学校便り	八 同胞愛に訴えて 一九
小学校便り	九 所得税の申告 二〇
PTA子供後援会便り	二 電話 室 二二
子供会海浜学校概要	一 米村した観察団 二二
栄光に輝く栄小学校	二 編輯室から 二二



農協 ニユース

一 トマトの出荷状況

愈々トマトの出荷も最盛期に入つて参りました。組合員はもとより、農協役員も一体となつて集荷販売 輸送に万全を期して居ります。本年は作付の減少 晩霜の被害 打ち続く悪天候のため生産量の減少は免れないでせうが、現在迄の出荷数量は既に三万貫に達し、只今毎日千五百貫乃至二千貫程度の出荷があります。価額は六月中の早期もの口例外として、七月一日より五日頃迄は、東京市場仕切上物一貫及び二五〇円より一七〇円位、五日頃より十日頃迄は同じく一五〇円より一四〇円位、十日頃より十五日迄は一四〇円より一二〇円位、本年は例年に比し相場は保合つて居る方でせう。其の外本年は特に駐留軍用 即ち特需六千三百貫許り契約し目下北海道札幌 陸奥市川 仙台方面へ出荷中でありませう。これに眞接本村に外貨が流れ込みますので誠に愉快な仕事であります。

二 麥類販売状況

麥類は平年なればもう最盛期で相当数の出荷を見ることがありますが、今年に刈り取り以来の悪天候で調製する向が無く、従つて出荷は遅れ七月十七日現在で六麥四八八俵、小麥二五俵の出荷に過ぎず、誠に寥々たるものであります。天候恢復すれば急激に出荷数の上昇を見るものと予想致して居ります。政府買入価格は複式俵大麥五二五キロ(一四貫)入一俵三等竹林級にて一七三七円、二類(水府類)は一七二二円、小麥は同じく六〇キロ(一六貫)入一俵二〇四五円、各等級間の格差は大麥一等二等間三円、二等三等間三〇円、三等四等間五五円、四等五等間一〇円、小麥は一等二等間四五円、二等三等間二五円、三等四等間六〇円、四等五等間一〇円であります。尚六等と言ふ等級が出来る筈であります。但し通報に接しませぬので次第に発表いたすことに致します。

三、家畜導入計画の実施
本年度有畜農家勸設事業の一環として、熊本を導入することに決定、七月末日頃には第一期十一頭の

仔牛が到着することになつて居ります。これに対する融資は、一頭に付二万六千六百円、五年間に償還することになつて居ります。又第二期計画としては乳牛の導入を計画致して居ります。乳牛は第一期には七頭しか申込がありませんので査定の枠内に入りませんでした。第二期には少なくとも十頭以上取り纏め是非この枠内に入りたいと思つて居ります。これを導入することによつて酪農への第一歩を踏み出し合理的農業経営を図ると共に、農家経済に寄与し文化生活の水俵を一段と高めて行きたいと思ひます。

乳牛一頭に対する融資は五万円前後の見込です。希望者口としどし御申込を願ひます。

四 西日本地方水害救済米輸送運動

西日本地方、特に北九州地方の水害が、如何に甚大なものであつたか口今更多言を要しない所と思ひます。全国の農協及び指導、信用、経済、医療の各連合会口、農協本来の理想即ち共存共栄の理念に基き目下罹災地の農家並に農協に対し、救済の手を差し伸べようとして各組合員へ呼びかけ救済米輸送運動を展開して居ります。何卒御協力をお願い致します。

農家への赤信号 (一)

栄村農業共済組合

一 稲熱病発生

本年位の悪天候続きはまあ少い。五月の播種以来一休晴れと云う日が何日あつたであらう。五月一日から七月廿日まで総日数八十一日、この中でほんとうの晴れと云う日はまあ廿五日位でなかつたらうか。するとその残り僅か雨、日照時は極めて少い。こうした天候に禍されて最近部分的ではあるが各所に稲熱病が発生した。いやこの天候が続く限り今後も発生を見るものと思ふなければならない。其の対応策として当組合ではこれが防除に必要な六斗式過石灰ボルドー液の原料たる硫酸銅、生石灰及び展着剤が用意してある。たえず田圃を見巡つて若し稲熱病発生の際がらつたなら時を移さず場所と面積を調べて当組合へ御連絡が願ひたい。薬品口所要量を計算し無料で見せさせていただきます。蔓延されると不測の凶作を見ますから呉れ呉れも注意して載きたいと思ひます。御希望によつて口技術員の派遣も致します。

教委だより

★七月二日―三日 新治地方教育委員会連絡協議会主催 教育委員 教育長視察団に塚本教育長参加、靜岡県清水市教育委員会、興津公民館 庵原村教育委員会等を視察した。

★七月十日―十一日 同連絡協議会主催 教育委員研修会が筑波町に開催され 本村よりは久松(信) 根本岡田、酒井の四委員が出席した。そして東大教授安藤秀雄 教育大教授平沢薫爾先生の指導を受けた。

★七月十四日 明年度使用教科用図書の採択について教育委員会を開催し、学校長より詳細なる説明を聴取し討議研究の結果本年同様に採択することに決定した。同日県伊東指導主事来校、学習指導につき実施指導を行った。因みに本村小学校が実験学校として県の指定を受け第三年目である。教委全員參觀児童生徒の学習に付懇談した。

★七月十六日 新治西部地方教委連絡会が山の荘小学校に開かれ、主として夏季休暇中の諸行事に付研究討議を行った。村より岡田委員 塚本教育長出席

新入館図書のお知らせ

公民館 図書館

書名	著者名	書名	著者名
大東亜戦史 満洲篇 上、下	森高繁雄	肥料の基礎知識と施用法	鳥居漱
畜産経営	占野清平	24口と水田畑	竹松哲夫
家畜産婆の手引	白井紅白	地の雑草防除法	
綿羊の飼い方	惣津律士	いねの一生	太田仁吉
養鶏飼料の新知識	鈴木幸三	雑草と24口の	
家畜の飼料	千由英外五	上手な使い方	笠原安夫
乳牛飼養法	松垣繁光	新農の上手な使方	佐原庄太郎
園芸植物繁殖法	田中諭郎	植物バライス	福士貞吉
果樹園の技術と経営	永沢勝雄	肥料	中村健太郎
これからの花卉園芸	二宮慎治	近世農民生活史	児玉幸多
知識と農法	酒井 学	近代日本農民史	玉川治三
別、量	近坂百一	農業経済学入門	久保田光明
タバコ	加茂義一		

図書館に於てはその図書に対し、絶えず「フォルマリン」燻蒸消毒を施して居ります。御安心の上御覧覧下さい。尚産業図書類も従前は館内閲覧でありました。が今月から貸出致します。何卒御利用を願います。

昭和廿八年度栄村公民館各部事業計画

月次	総務部	産業部	保健体育部	婦人部	青年部	子供部
四月	分館長会議 各部連絡会議 部会	部会 苗代消毒実施 優良種改善 水稻種子消毒	部会 赤十字募金 講演会	部会 貯蓄奨励運動 観桜会	部会 村道修理 観桜会	部会 入学式 桜まつり
五月	分館長会議 部会	部会 赤十字募金 講演会	部会 赤十字募金 講演会	部会 赤十字募金 講演会	部会 料理講習会	部会 子供の日 母の日
六月	分館長会議 各部連絡会 部会	部会 苗代害虫駆除 梅雨期衛生督戒の衛生講話	部会 衛生講話	部会 衛生講話	部会 田植祭 時の記念日	部会 農繁期中の小児保健施設
七月	分館長会議 各部連絡会議 映画会 部会	部会 とまと立毛品部会 村内卓球大会 海浜学校	部会 村内卓球大会 海浜学校	部会 料理講習会 慰安映画会	部会 料理講習会 慰安映画会	部会 七夕祭 夏期海浜学校
八月	分館長会議 各部連絡会議	部会 諸農事調査	部会 水泳会	部会 絞染講習会	部会 学校グラウンド整地 水泳会	部会

月	月 九	月 十	月 十	月 十一	月 十二
部会	分館長会議 世論調査	各部連絡会議 文化祭短歌俳句会 碁将棋会	分館長会議	各部連絡会議 研究會 講演会 七五三合同祝典	各部連絡會議 分館長會議
部会	部会 農作物栽培座談会 水稲螟虫駆除 文化祭	部会 野球大会	部会 衛生講話 体育祭	部会 卓球大会 人口調節講話	部会 人口調節講話
部会	部会 生活科学化研究会 観月会 料理講習会 文化祭	部会 敬老会 運動会 協同募金	部会 李節向來養料理講 習会 映画会 七五三合同祝典	部会 人口調節講話 映画会	部会 人口調節講話
部会 （新制中学）	部会 料理講習 文化祭	部会 村道 農道修理 音楽講習会 観月会	部会 體育大会 読書会	部会 めんま講習会	部会 めんま講習会
林岡学校	部会 夏休み反省会 文化祭	部会 運動会	部会 各部野球大会 遠足会 七五三合同祝典	部会	部会

月	月 一	月 二	月 三	月 四
青年学級の助成 世論調査	部会 各産業団体協議会	部会 野嵐駆除実施	部会 分館長會議	青年学級の助成 世論調査
部会 成人祭	部会 防 國保強調週間	部会 健康優良家庭表彰 節分会	部会 分館長會議	部会 成人祭
部会 分館長會議	部会 カマド改良台所改 善普及会 先進地視察	部会 竹細工講習会	部会 公民館運営研究会 各部予算事業計画 樹立(昭和二十九年度)	部会 公民館運営研究会 各部予算事業計画 樹立(昭和二十九年度)
部会 分館長會議	部会 志年会	部会 簡易概ね講習会	部会 各都連絡會議	部会 分館長會議
部会 各部連絡會議	部会 人口調節講話 映画会	部会 めんま講習会	部会 各都連絡會議	部会 各部連絡會議
部会 各部連絡會議	部会 人口調節講話 映画会	部会 めんま講習会	部会 各都連絡會議	部会 各部連絡會議
部会 各部連絡會議	部会 人口調節講話 映画会	部会 めんま講習会	部会 各都連絡會議	部会 各部連絡會議

昭和廿八年度栄村公民館弘報委員会事業計画

編輯室	写真班	放送班	ポスター班	映画班	レクリエーション班	調査班
弘報発行	撮影	録音・放送	図表制作	映画・幻燈会	枚まつり	記録調査

月	五	六	七	八	九	十	十一	十二	一	二	三	四
弘報発行	弘報発行	弘報発行	弘報発行	弘報発行	弘報発行	弘報発行	弘報発行	弘報発行	弘報発行	弘報発行	弘報発行	弘報発行
撮影	撮影	撮影(海浜学校)	撮影(白葉栽培)	撮影(文化祭)	撮影(親月会)	撮影(白菜)	撮影(七五三倉祝)	撮影	撮影	撮影	撮影	撮影
録音 ニュース放送 図表作製	録音 ニュース放送 図表作製	討論会録音	録音 ニュース放送 赤い羽根ポスター	録音 ニュース放送 文化祭ポスター	録音 ニュース放送 図表作製	録音 ニュース放送 図表作製	録音 ニュース放送 図表作製	録音 ニュース放送 図表作製	録音 ニュース放送 図表作製	録音 ニュース放送 図表作製	録音 ニュース放送 図表作製	録音 ニュース放送 図表作製
映画 幻燈会	映画 幻燈会	映画 幻燈会	映画 幻燈会	映画 幻燈会	映画 幻燈会	映画 幻燈会	映画 幻燈会	映画 幻燈会	映画 幻燈会	映画 幻燈会	映画 幻燈会	映画 幻燈会
レクリエーション 研究会	レクリエーション 研究会	レクリエーション 研究会	レクリエーション 研究会	レクリエーション 研究会	レクリエーション 研究会	レクリエーション 研究会	レクリエーション 研究会	レクリエーション 研究会	レクリエーション 研究会	レクリエーション 研究会	レクリエーション 研究会	レクリエーション 研究会
記録調査	記録調査	討論会記録	先進地視察	記録	世論調査	記録	記録	記録	記録	記録	記録	記録

◆運営審議会は毎月一回会議を開く
◆図書協賛委員会は毎月一回会議を開く 新刊図書購入及び貸出しをする。

昨年来村
した視察団
団体数 158組
総人員 4810人

月別内訳		月次		月次		月次	
月	次	月	次	月	次	月	次
四月	一七	五月	一九	六月	二〇	七月	二一
三月	三一	四月	二九	五月	二九	六月	三〇
二月	一五	三月	一六	四月	一七	五月	一八
一月	七	二月	六	三月	七	四月	八
団体数	七	団体数	一九	団体数	二〇	団体数	二一
人員	一三八	人員	四三一	人員	六九〇	人員	一〇二



中学校便り

一、七月の行事

七日 西部班陸上競技会 藤沢中学校で開催、本年の優賞口九重中学校 本校は七ヶ村中第六位であり振はなかつた。

十三日より十五日まで、期末試験実施
十八日 新治郡球技会に西部班代表として、バレー部が石岡に出場する

十九日 東京大学で実施の全国中学生テストに本校の参加し受験する
二十日 終業式 学級PTAを開催し 生徒の成績を中心に 父兄と懇談をする

廿一日 本日より夏休みとなる
夏休中の指導計画

1. 休暇の目標
2. 自主的 社会的態度を養成する
3. 家庭生活でよい習慣の育成をする
4. 身体の治療を必要とするものは、この期間を利用する

4. 家事の手伝いを通して勤労愛好の精神を養う。
5. 自由研究を通して趣味や個性を十分に伸長させる

二、指導方針

1. 休暇前の指導
2. 生活計画表を作成させ規律ある生活をさせる
3. PTA及子供会後援会と連絡して学校で計画
4. 部落PTAを開催し 指導目標の徹底と父兄要望を知る
5. 学級PTAを開催し 一学期の反省と指導の具体的な懇談をする

6. 連合子供会 部落子供会 生徒会を開催し生活目標を定めてその徹底を図る
7. 休暇中の指導
8. 担任の家庭訪問励行
9. 部落担任が中心となつて子供会後援会と連絡し子供会を指導する
10. 海浜学校の開設(自廿四日至廿七日)
11. 生徒会クラブ活動の指導

○ 夏休テキスト指導

○ 健康調査 生活指導のため週一回位招集して指導する

○ 学校施設備品を開放して利用させる

3. 休暇後の指導

○ 子供会 生徒会 学級の反省

○ 作品展覧会 発表会の開催

○ テキスト 研究課題 自由研究物等の検閲及指導

三、特に強調する点

1. 規律正しい生活

2 水泳に注意

3 校外生活態度

四、生徒会で暑中休暇中の心得を定めて実践に努める

生徒心得については印刷し、次の要項について実践

実践方法を生徒会で具体的に定めた

○ 水泳の心得 ○ 勉強のこと ○ 登校日について

○ 衛生上の心得 ○ 校外生活の態度 ○ 運動について

○ 家事の手伝い ○ 学校備品施設を利用する場合



小学校便り

一 七月の主な行事

△十一日 ツベルクリン反応(畧称ツ反)検査

九日に岡田校医先生が来てツ反の注射を致しましたので、其の結果を片岡保健婦さんに調べて戴き

陰性者にはBCGの注射を行い、陽転者には特に今年口体に注意される様にとのお話しがありません

した。学校でも陽転者には注意書を配布いたしました

す

△十四日、学習指導法校内研究会

果の伊藤指導主事を迎え校内研究会があります。

当日は、研究討議や 先生の模範授賞(六年二組

児童)もあり 本校の先生方が絶えざる努力を続けられるわけです。

△二十日、第一学期修業式並に学級PTA

この日には今学期修業式並に学級PTAを開き一

学期の反省と夏休み中の生活に就て 父兄の皆さんと話し合いをする事になっていますので、是非

合

二 夏休み中の生活指導について

△規律のある生活態度

四十日からの長い休みでありますので、児童達の

毎日の生活が不規則にならないやうに学校では注

意しています。学校では休み中の心得を配布致し

ますから家の人も読まれるようお願いいたします。

△反省表 夏休みの友の記入

毎日の日課を決め 少しづつ学習や自己反省をさ

せ、児童の自覚を促すよう学校では考えています。

△休み中の保健衛生

特に伝染病についての注意 水泳についても学校

で口その対策予防を考えています。各家庭の御協

力を期待いたします。

△子供会活動の参加指導

毎年表彰を受ける栄村子会会の行事も、夏休み中、

の活動が一年中でも一番大きいと思っております。

父兄の方々にも御協力をお願いいたします。

三 学習の面から

△読書ノート展の成績

自主的な教育が叫ばれている今日、とうしても読

書指導の重要性は他の教科以上に重視され、自主

的な人間形成に本校図書館口力を入れていきます。

本年第一回の読書ノート展入賞者

三年 小池 和子、桜井八重子、程山 忠雄

四年 沼尻 弘子、大津 和子、横山 守樹

五年 岩瀬 幸江、鈴木 清次、片岡由起子

六年 岩瀬 栄、荒井 順子、平沢 朋子

△珠算検定四級に合格

去月廿八日土浦一中にて商工会議所主催の珠算検

定試験に初つの四級合格者を出しました。

六年二組の岩瀬栄さんです。岩瀬さんおめでとう。

四 校舎の修理

△雨もりの修理

本校の校舎は、もう五十年以上もたつた古い校舎

でありますので、雨洩りが多く、大変苦しんで居

た処、村長さんや助役さんが調査に見え、「これ口

ひどい、早速修理しませう」と直に貴師さんを頼

み十日から屋根の修理にか、つて居ります。雨洩

りの悪い校舎となるも近い事でしょう。



PTA及子供会後援会便り

七月六日夜 PTA実行委員会及子供会後援会長合同会議で夏休み中の生徒 児童の指導について、次の様な協議を致しました。

- 水泳について
各部落PTA 子供会後援会(以下単に後援会と記載する)で、部落の実情に即して監督指導する。
- 生活指導
子供会を中心として指導する。担任教師の家庭訪問を励行する。
- 子供会の活動を援助する。

- 1. 海浜学校に努めて参加する様励める
- 2. 部落毎の遠足日、海浜学校に参加するやうにして取りやめる。
- 3. 海浜学校に参加出来ない会員のために、映画会を開催する。
- 4. 各子供会毎に休暇中の行事について計画するので、これを指導し又実施の際にゆよく協力する。

○ PTA常任委員 役員 実行委員の奉仕
八月上旬に一日中学校独立校舎校庭の植山の開墾を奉仕する

○ 部落PTAを各部落休暇前に開催し、教師と懇談し、学校の方針に協力する。

○ 七月二十日終業日当日の学級PTAには努めて出席し、児童生徒の学業成績、生活態度について懇談し、休暇中指導の具体案を立てる (市村記)

栄村子供会海浜学校計画概要

- 一、主催、栄村連合子供後援会
- 一、後援、公民館子供部 小中学校PTA 小中学校
- 一、期日、七月廿四日より同廿七日まで 三泊四日
- 一、場所、東茨城郡磯浜小学校宿泊、磯浜海岸
- 一、経費、小学生四〇〇円 中学生五〇〇円
- 一、目的
 - 1. 児童生徒の健康増進を図る
 - 2. 共同生活になれさせ、自主的態度を養う
- 一、指導者、小中学校全職員

持参品

- 1. 衣服 水泳パンツ シヤツ 手拭 着替衣服等
- 2. 寝具 毛布 又はねまき 枕
- 3. 洗面具 ハブラシ 口みがき粉 石けん、ちり紙(以上持物には、よく名前をつけること)
- 4. 食糧 米一升五合 味噌(茶呑茶碗二杯) 醤油(一合)
- 5. 野菜 馬鈴薯一〇ヶ 胡瓜五本 茄子六ヶ 玉葱五ヶ
- 6. 薪 一把
- 7. 夏休みの友 ノート 筆記用具
- 8. 小遣銭 二〇〇円以内
- 9. 其の他 新聞紙 風呂敷 藁蓆 蓆 寝具 衣服等口、風呂敷又はリックサツク、トラランク等に一包にして、学年及び名札をつける
- 一、受付 廿三日午後一時より中学校玄関前で受付けます。
- 寝具 衣類の包 ○ 米 野菜 味噌 醤油 薪
- 一、日課表
午前六時三十分 起床 洗面 清掃

栄光に輝く栄小学校

本校小学校口、今回教育基本 施設 行政調査に優秀の成績を認め、文部大臣表彰の栄誉に浴し、七月廿二日同校に於て表彰状の伝達式が行われた。この表彰口全国六フロックより、各フロック毎に優秀校一枚を選抜し全国にて六枚を表彰したものである。本校口即ち関東甲信越の最優秀校として入選したもので洵に栄光の至りと言わねばならない。校長には勿論諸先生方に対し深い敬意を捧ぐると共に謹で祝意を表する。

- 同 七時 朝食
- 同 八時 朝会 健康調査 学習
- 同 九時 整列 出発 海洋訓練 見学
- 同 十一時廿分 帰校 昼食 休憩
- 午後一時廿分 整列 出発 海洋訓練
- 同 四時 帰校 身辺整理 清掃
- 同 五時 休養 入浴
- 同 七時 夕食 リフレエーション
- 同 九時 就寝
- (十四日現在申込者 小学校七五 中学校四〇)

MSA援助とは

目下開議中の第一六特別国会で、論議の一大中心となり、連日新聞紙上を賑はして居るMSA援助問題とは一体何なるか、何故むづかしい論議が続けられて居るのか、勿論既によくおわかりのことに相違ないと思うが、一応簡単に解説して見るゆゑながら無用の業でもあるまい。或る漫画家曰くMSAは「求めよ、さらば与えられん」のMSAだと言ひ、或る者は「わう、そろそろ、あきらめろ」のMSAだと言ひ、それは何れにしても諷刺的な冗談であるが、MSAは御承知の通りアメリカの「ミューニョアル セキリチエー アクト」(mutual security act)即ち相互安全保障法であり、この法律に基いてアメリカの相互安全保障本部が行う対外援助が、所謂MSA援助である。この援助には軍事援助、防衛援助、武器援助等を含む。経済援助、技術援助の三種類があり、この援助特に防衛援助並に防衛支持のための経済援助を受ける場合は、この法律の定むる所によつて、六項目の條件

に同意せねばならない。而してこの六項目の内、我が國で特に関心の的となるものは何と云つても、(3)の「アメリカが一方の当事國となつて居る多數國間、または二國間の協定または條約のもとに負つた軍事的義務を果すこと」、(4)の「自國の防衛力と自由世界の防衛力の發展維持のため、自國の政治的、経済的安定をそこなわずに自國の人的資源、物的資源、施設及び一般経済條件の許す限りの十分な貢献をすること」、更に(5)の「自國の防衛能力を發展させるのに必要な一切の合理的措置をとること」の三ヶ條であらう。されど同時に一応見て置かなければならぬものは日本憲法の第九條、即ち「日本國民は、正義と秩序を基調とする國際平和を誠実に希求し、國權の發動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、國際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。前項の目的を達する爲、陸海空軍その他の戦力、これを保持しない。國の交戦権は、これを認めない」と言う戦争放棄の條件であらう。

ところでアメリカは、日本が未だ國連軍の占領下にあつた頃は、勿論問題はない。然し日本が獨立國とな

つた今日、しかも無防備の日本を、共產主義の脅威の前にさらけ出して、漫然と拱手望觀して居るわけに行かない。されば説明するまでもなく自明の理であらう。そこでアメリカ政府では新年度(即ち一九五三年(本年)より一九五四年にまたがる年度)に於て、日本をもこのMSA援助の対照國に組入たわけである。この年度に於てアメリカ政府が、其の議會に要請したこの対外援助費予算は五億ドルに上つて居るといわれて居る。そして五月五日タレス國務長官は上下兩院外交委員の合同委員会に臨み、大体次のような説明を行つて居る。

「自由世界に対するソ連の脅威が即ち減少したか、又は減少するだらうと言ふ証拠は一つもない。新対外援助計画はアイゼンハウアー大統領が、四月十六日の平和演説によつてソ連から奪つた「平和への主導権」を保持することを目的とする総額五億ドルの内、大部分はこれ並通り北太平洋條約十三ヶ國の強化に当てられるが、アメリカ政府としてはこの外共產主義の脅威にさらされて居るインドシナ及び台湾に軍事経済的援助を与へ、日本に対しては国内の安

全保障及び自國の防衛上に必要な装備、訓練のため資金を提供しようとするものである。この説明によつて見るゆゑ、日本に与えようと言ふ援助が、軍事援助に重点ありと見ることが出来るであらう。而して解釈のしようでは必ずしも軍隊に対する援助に限定されることなく、広く防衛力、治安力の強化及びこれに伴ふ経済援助の意味も多分に含まれて居るかも知れぬ。六月十二日アリソン駐日アメリカ大使は日本協會に於て「このMSA援助は全くアメリカの好意的配慮であつて、あくまで日本の要請によつて行はれるものである」旨を演説して無理押しに日本を援助しようと言ふのではなく、受けるか否かは全く日本の自由意志であることを明らかにして居るのである。

現在全世界でこのMSA援助を受けて居る國は、英仏を始め五十數ヶ國とも六十餘ヶ國とも言はれ、我が日本でも理窟は兎に角として、國の現状より見て受け入れるであらうことは想像するに難くあるまい。唯これを受け入れた場合、例の條件を履行する憲法と如何なる關係を持つか。外交折衝によつて違憲にならない範圍内で條件の決定を見たとしても、次に来るものは

主導のためアメリカより派遣さる、顧問の来朝である。この顧問は勿論駐日して、日本の防衛に関する一切の措置について指導するのであるが、或の場合によつて口やがて内政干渉の問題も起らないとは断定出来ないのであらうし、又経済上の問題、駐留軍基地附近に於ける風紀上の問題等とも考へ合せ、國會において種々の再度より、國家の将来を考慮し十二分の検討が行なわれて居るものと信ぜられるのである。

(附記) 其の後本問題に関する動きを、國會に於ける政府当局者の説明、答弁等を綜合して見るに、M S A援助の受け入れは殆んど確定的のものであらうし、これに伴う日米交渉も近く開始さる、模様である。これが成立すれば必然的に保安隊の性格や名称も変わるであらう。而して政府は憲法との関係に於ては、侵略軍に対する防衛は自衛権の発動であつて戦争ではない。防衛隊は軍隊ではない、従つて憲法第九條には抵触しないと云ふ見解を取つて居るようである。憲法上の解釈は兎に角として、我々は名実共に完備した、他國の侮りを受けない眞の獨立國たる日の一日も速かに来たらんことを希求して止まない。

青年会の動き

青年会では七月次のような行争を行いました。

- 一、文化部で公民館と共催にて十七日午後七時三十分より中根前栄館へ公民館ホールでは狭いと考へましたので特に栄館を使うことにいたしました。に於て、田植の慰勞を兼ね映画会と討論会を併催いたしました。討論会の論題は「公民館各部に何を望むか」でありました。多数村民各位の御米館により盛況でした。詳細は紙面の都合で次号に発表致します。
- 一、社会部は総務部と共同で十七日映画会の時、西日本地方水害罹災者の救援義捐金募集を行いました。去る六月下旬の西日本地方の水害は充分御承知の通り九果下に及び、其の惨状は言語に絶するものがあります。この際温かい友愛の手を差し延べらる、よう御祈り致します。又月末には青年会運営上の輿論調査を行います。御協力をお願します。
- 一、体育部で日米廿三日藤沢中で行はれる西連青陸上競技大会に精銳選手二十数名を派遣いたします。



国保衛生係より

鬱陶しい梅雨の漸くあけ、昨日今日はめつきり夏らしくなつて参りました。これから日増しに暑気が加つて行くこととせう。

トマト、西瓜、玉蜀黍さては甜瓜、梨瓜、桃、葡萄なども最盛期に入り、一方暑さの加るにつれて氷水、アイスキャンデー、アイスクリーム、ミルクセーキ、人工着色のシロツブ類やらラムネ、サイダー等の清涼飲料迄、盛んに出廻つて参るでせう。焼くが如き炎天下、一日の勞を終えて浴後の浴衣がけ、夕の涼風にすましく鳴る風鈴の音に耳を傾けながら、団扇片手に可愛いお子さん方と氷屋の店頭に涼を納れる姿は、眞夏の宵、到る處に繰りひろげらる、美しい景物語で、あらうか、こうした飲食料品に恵ぐまれ、身軽るに活動力の旺盛な夏口、暑さにあえぎながらも全く楽しい季節であります。然しそれば単に人許りではなく、また蚊や蠅の昆虫類から、目に見えぬ病菌類迄も跳梁を逞しうする時であります。漢学者一流の言葉を以て

すれは、「豈に戒心せざる可けんや」であります

蚊や蠅の撲滅について、当係でも相当研究して居りますが、何分多額の経費を要しますので急速実行と云ふ運びには中々参りません。病菌はあらゆるものに附着して居りますから食物調理の前、外から帰つた時、物を食べる時口必ず手をよく洗つてからに致ませう。

又今迄元気に遊んで居つたお子さん方が急にぐつたりし、顔色が蒼白になり、手足が冷たいのに熱が急に高まり三十八度から四十度にも昇つたり、さむけがしてだるく、三十七、八度にも発熱して吐いたり、腹痛がしたり、下痢があるような状態のときは疫痢や赤痢の症状とも見られるでせうから一刻も早くお医者さんに見せて戴くことです。國保の方でも、皆様の保健の相談相手として今後次の日割により保健婦が各部落なり、御家庭へなり御伺い致しますことになつて居りますから御遠慮無く御利用が願えれば幸甚だと思つて居ります。尤も保健婦の方にも國有事務やら会議等がありますので、日割通りに行かぬ場合も多々あると思ひますが、其の辺り予め御宿怨をお願い致しますと存じます。至急必要の場合台役場へ御連絡下されば幸いです。

八月農事手帖

平均気温 24.6度
日照 66.1度
降水量 41.9mm

夏の衛生に重大關係あるものは何んといつても日常の飲料水でありませう。土浦保健所では、特に本村を指定し、六月十日から十四日まで五日間に亘り、五百二十の井戸に対し、化学分析によつて水質検査を行つたのでありますが、まだその結果が通知になりませんので発表するわけに参りません。この結果判明次第各家庭へ御連絡致しますから其の節口其の判定に従つて適切な処置をお取り下さる様願ひしう存じます。

保健婦各部落巡回予定表

大字名	日割(毎月)	予定時刻	大字名	日割(毎月)	予定時刻
上境	一日二日廿日	午前0時 午後5時	大上下	五日廿五日	午前0時 午後5時
中根	二日二日廿日	〃	金田	六日廿六日	〃
土器屋	三日二日廿日	〃	由米	七日廿七日	〃
横寄松塚留留日詰日	〃	〃	吉瀬	八日廿八日	〃

婦人会短信

啼かす飛びすこ、数ヶ月 去る七月十四日石岡町常陽銀行支店樓上に、婦人会郡連絡協議会を開催。各フロック結成の相談が纏り、西部地区フロックでは八月二日本村公民館でこの結成式を行うことになりました。

白菜の早まき——は病害のもとです。京都三号の場合、八月二十日から二十五日頃が適期です。
ゴマ病は——輪点病と稱する一種のバイラスですから、苗床でも本圃でも、アブラ虫をつける事が絶対禁物です。連作や窒素過多もゴマ病のもとです。
練床の大きさは——二寸——二五寸の場合、十日乃至十五日の育苗期間が目標ですから、移植のおくれの場合、五日ごとに〇五寸ずつ増す事です。
練床の肥料は——坪当り硫安は一〇〇匁が標準ですから、一ワクの場合は百三十匁位が限度です。水に溶してよく混ぜる事がコツです。
石Nを——基肥に用いる時は、少くとも二週間前までに施す事です。撒布する時は、土とよく混ぜて飛ばさないやうにして用いましょう。近所の水稲や、その他の作物に意外の被害を与えた実例が毎年沢山あります。来年の殖土は——になる温床の踏み込み材料の切返しをマメにして完熟を促進させるやう心掛けましょう。



今年の産米目標きまる

七月四日公民館に於て農業委員会並に農業委員生産組合長合同会議を開催し、本年度産米生産目標指示について協議を行い、その結果左記方針によつて各個人別生産目標を算出し、これを各生産者に指示することになった。

昭和廿八年産米生産目標提示方針

- 一、基準生産量
水稲については前年供出割当時の面積及反収を用い、濱地を除き、陸稲については前年生産量を用い基準生産量とする。
- 二、減産量
増産施設の老朽化及地力の減退によつて減収量を算出する。
- 三、施設別増産量
A、耕地の拡張及土地改良 廿七年に於て実施し、今年新たに増産を見込まれるもの。
B、種子消毒 播種全量について実施するものとし

反当約二外

3. 病害虫防除 実施見込面積について反当約五升
4. 保温折衷苗代 実施見込面積について同約二升
5. 種子更新 優良品種の普及採種圃産種子の更新等により反当同約四升
6. その他の技術改善 適期作業 施肥改善その他により反当約五升

以上の方針により算定した各生産組合毎の生産目標は次表の通りである

産米生産目標

組合名	基準生産量			施設による増産量	生産目標
	水稲	陸稲	計		
上境	五二八九一	一五八〇	五四四七二	二〇九〇	五六五六一
中根	六七六六九	一五六〇	六九二二九	二七〇〇	七一九二九
土器屋	四七五九二	一〇三〇	四八六二八	一八六〇	五〇四八八
松塚	五二四二〇	一〇三〇	五二四五〇	二一六〇	五四六一〇
大上坪	四二九九七	五四〇	四三五三七	一六五〇	四五一八七
大下坪	四七八八二	七三〇	四八六一二	一八二〇	五〇四三二
横町	二二四四五	四三〇	二二八七五	八九〇	二三七六五
金田	六九三三一	一八〇〇	七一三一一	二七二〇	七三九二一

西米	二八九〇	五七〇	二五五〇	七五〇	〇五〇〇
吉米	九三九〇	一五〇〇	九八九〇	五五〇〇	九六〇〇
吉米	六八七七	一五〇〇	六八七七	六六〇	七一九七
合計	五七九〇〇	二四〇〇〇	五九〇〇〇	二二八〇〇	六二四八〇〇

一応以上のように生産目標が決つたが、現在の稲の発育状態は悪天候に禍され、分稔不十分の外、稲熱病も各所に発生し、又二化螟虫の被害の憂慮さるる状況下にあり、一方西日本、和歌山方面等の水害により今秋の供出割当には自然樂觀をゆるさざるものありと思はれ今後の肥培管理に万全を期せられたいと思ふ。

牛の流感予防注射

今年もまた、牛の流行性感冒発生季節となつて参りました。本村では左記によつてこの予防注射を行います。罹つてから騒ぐより、罹らぬ用心が肝要です。今年こそ一頭も洩れなく予防注射をやりませう。

- 一、予防注射対象牛 村内希望者全部（特に他府県から移入した若牛には是非共必要と認めます）
- 一、手数料 二頭分にて一頭に付金百五十円
- 一、実施期日 第一回七月廿三日 第二回同廿七日



同胞愛に訴へて

六月下旬 西日本地方を襲つた豪雨は、同地方に空前とも云うべき大被害を与へ、その惨状は既に新聞紙上等にてよく御存じのこと、存じますので詳しくは申し上げませんがこの被害の範囲は実に九縣に及び、死傷行衛不明三千、被害戸数半七万五千、罹災人員百二十万余と伝えられて居ります。その他土地、農作物、家畜、工作物、營造物の損害を加えますなれば、甚大な被害であり、罹災者が如何に悲惨な状態のもとにあるかは想像にあまりありと考えられます。全く御気の毒と言ふ外ありません。

本県に於てもいち早く、救援義捐金募集の計画を立て、この御気の毒な人達に対し温かい救援の手を差し延べようとして居ります。本村でもその一翼を荷え、既に常設委員さん方に御願ひして、御覧を以て各御家庭へ呼びかけて居ります。誰れしも遠隔地の被害であつて、眼の辺りこれ見ない限り口、中マヒンとは米ないものである。然し当

地では十六年前、即ち昭和十三年七月の土浦周辺の大水害を想起し、そして今回の西日本地方の惨害がこれに幾層倍するものと考えますれば、大体に於て想像し得るではないでしょうか。何卒この際友愛を發揮し一戸洩れなくこの運動に御協力あらんこと懇願いたして止みません。

次に県の募金要綱を抄録して御参考に供します
西日本地方水害罹災者救援義捐金募集要綱（抄）

一、趣旨 省略

二、参加機関及び団体

- 茨城県 県議会、県教育委員会、水戸市、日立市、土浦市、古河市、県町村会、県市議会議長会、県町村議会議長会、日赤県支部、茨城新聞社、日本放送協会水戸放送局、日本経済新聞社水戸支局、東京新聞水戸支局、読売新聞社水戸支局、毎日新聞社水戸支局、朝日新聞社水戸支局、産業経済新聞社水戸支局、共同通信社水戸支局、県社会福祉協議会、県共同募金会、県婦人団体連絡会、県青年団体連絡協議会、県日赤奉仕団、県連合商工会議所、水戸商工会議所、日立商工会議所、土浦商工会議所、古河商工会

議所

三、募金会の設置 名稱及び組織

前記参加機関及び団体を以つて「西日本地方水害罹災者救援義捐金茨城県募金会」を設置し、募集及び配分等の円滑公正な実施を図る。会長は知事、会員は各参加機関及び団体代表者、事務局は県社会課長。地方には、募金会が設けられないで、地方事務局、市町村が中心となり、関係機関及び団体の協力によつて、募金会の業務の円滑な遂行を推進する。

四、宣伝の方法 省略

五、募金の期間 七月五日から七月末日まで

六、省 略

七、公示の方法 義捐金の募金成績及び配分の状況は適宜の時期に新聞その他の方法で公示する。以上省略致します。（※村役場民生係）

所得稅の告 申

七月は所得稅の予定申告期です。申請義務者は忘れずに期日迄に申告致しませう。又第一期分の納稅も忘れずに納めましよう。滞納すると政治は中風症になります。

電話室

村から家庭へ

- ◆五月八日 衛生係で鳩バラ予防注射開始、午後八時公民館にて同運営審議会開催
- ◆五月九日 午後一時より役場に民生委員会開催
- ◆五月十日 午後八時より役場に吏員任用委員会開催
- ◆五月十二日 午後八時より公民館に青年会役員会及中根土地改良区協議会開催
- ◆五月十三日 中学校で江ノ島鎌倉方面へ遠足 午後九時頃帰村
- ◆五月十五日 午後一時より公民館に中根土地改良区役員会開催、同八時より役場に村議会協議会開催
- ◆五月十六日 午後一時より公民館に新治西部地区氏子総代会開催
- ◆五月十八日 静岡県庵原郡庵原村の産業方面視察のため村農業委員一行午前五時出発 同十九日帰村
- ◆五月十九日 公民館図書館図書の消毒を行う

◆五月廿一日 午後八時より公民館にて白菊立毛島評議会開催の爲の審査委員会開催

◆五月廿二日 午後二時より土浦保健所の赤痢予防灯会を公民館に開催

◆五月廿三日 午後二時より公民館に中根土地改良区揚水設備竣工式 総会及祝賀会開催

◆五月廿五日 午後一時より公民館に米農協及農業共済組合第五回通常総会開催同終了後同所に於て米村自作農貯蓄組合創立総会開催

◆五月廿六日 午前八時より公民館に新治西部青年会総会開催 同午前八時より同所に於て煙草耕作組合役員会開催 同午後一時より役場に教育委員定例会議

同四時より中学校建設委員専門委員会開催
 ◆五月廿七日 午後八時より青年会各部合同会議開催
 ◆五月廿八日 午後八時より役場に中学校建設後援会創立の件に付村議会議員 教育委員 中小PTA会長 合同会議開催 該後援会を設立した。

◆五月三十日 午前八時より農業共済組合にては被災委託に対し現地に付実地調査及評価を行う
 午後一時より公民館にて白菊会総会開催

◆六月一日、午後八時より公民館に煙草耕作組合役員会開催

◆六月四日 第二回全国公民館大会栃木県日光町に開催に付 中央部の招請により本村よりは岡田久 市村芳男両先生を派遣 両氏共に早朝出発した。

午後七時より公民館に於て煙草耕作組合総会開催
 ◆六月五日 午後八時より公民館にて婦人会役員会及び青年会評議員会開催

◆六月六日 午前十時より公民館に婦人会役員会開催

来村した視察団

- ◆五月廿五日 栃本県芳賀郡大内村より約五〇名
- ◆五月廿六日 東茨城郡下中妻村より約五〇名
- ◆五月廿八日 栃木県芳賀郡山前村より約五〇名
- ◆五月廿一日 栃木県下都賀郡國府村より約五〇名
- ◆六月一日 那珂郡勝田町より二〇名 東茨城郡山根村より三〇名 行方郡津登村より一〇名
- ◆六月八日 結城町教育長岩崎義雄氏外一名
- ◆六月廿五日 鹿島郡町村長約三〇名、何れも社会教育 生活改善 農協事業 トマト栽培 村政全般等視察のため来村した

編輯室から

前月村勢特輯号を出したので、本月は普通記事が多く、その全部を消化することが出来なかつた。
 「今年の村民税」「婦人会の動き」「教委便り」の大部分が、其他二三の記事は次号へ廻さざるを得なかつた。折再寄稿して下さった方々へ御詫び申し上げて置きます。愈々土用 読者各位の御健斗と御自愛を祈ります。

『さかえ』 第四卷第三十四号
 昭和廿五年十一月三日 創刊
 昭和廿八年七月廿五日 印刷発行
 編輯人 米村公民館弘報委員会
 土浦市中城町九一九
 印刷人 かすみ勝字堂
 電話 土浦四八九番
 発行人 米村公民館
 茨城県新治郡米村字横町三三二
 電話 米局三二番

米村金田 花岡氏蔵書